



作品紹介

今号も学校や家庭で書いている子どもたちの作文を紹介します。

ぼくの新しい発見

小学部5年 井上桜太

ぼくは、初め、言葉の意味はインターネットで調べればなんでも分かると思っていました。しかし、「言葉の意味が分かること」を読んで、言葉の意味には広がりがあるって奥深いという筆者の考えに納得しました。

筆者の二番目の例「歯でくちびるをふんじやった」という例に、なるほどと思いました。なぜなら、言葉の意味には限られたはんいがあると思ったからです。ぼくは、「ふむ」は足でおしつける動作だと思います。

「かむ」は歯でおしつける動作だと思います。これが筆者の言う「言葉のはんい」だと思いました。

ぼくは、「言葉の意味が分かること」を読んで、言葉には広がりがあるという筆者の考えがよく分かりました。



- 筆者の考えに共感したことがよく伝わってくる作文です。母語でも外国語でも、言葉の意味を点ではなく面として考えることが大切ですが、補習校で学ぶ子どもたちには特に各言語の良さを実感してほしいです。

「こどもの日しゅう会」のかんそう

小学部3年 森津ひまり

五月四日、ほ習校の二時間目に「こどもの日しゅう会」をしました。三年生、四年生、五年生で参加しました。そして、みんながせきについたら、校長先生のお話が始まりました。

校長先生が、いくつかのクイズを出してくれました。その中で一番わたしの心に残ったことは、「こどもの日に食べるおもちの名前は何でしょう。」です。なぜなら、えらぶ答えが「さくらもち、かしわもち、しりもち」だったからです。わたしもみんなも「しりもち」と聞いたしゅんかんに、おもわず声を出してわらってしまいました。

一年生から三年生までにさんかした「こどもの日しゅう会」の中で一番楽しかったです。帰りにもらったかしわもちをほおばりながら、校長先生のクイズを思い出して、くすくす笑いながら食べきりました。



- “おもわず”、“ほおばる”、“くすくす”など、表現がとても豊かです。柏餅がおいしすぎて尻餅をつかなかったでしょうね。

日本の祝日と行事予定

【7・8月の日本の祝日】

7月15日(月) 海の日 8月11日(日) 山の日

【7・8月の行事予定】

7月 6日(土) 七夕集会 (第1部：小6・中学部)
(第2部：小3～小5)
(第3部：小1・小2)

7月13日(土) 全校一斉遠隔授業 (各家庭でのOnline授業)

7月20日(土) 夏休み図書貸出 読み聞かせ教室

7月27日(土) 夏休み図書貸出 夏休み前最終授業

夏休み中の休校日 8月 3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)

8月31日(土) 読み聞かせ教室 夏休み明け授業開始



学校からのお知らせとお願い

1 七夕集会行事に関連しての配付物について

- ・来週(7月6日)、**全校児童生徒に水ようかんを配付**します。家に持ち帰って食べるように指導していますので、ご協力ください。欠席した場合には、後日配付いたします(配付期限：8月31日)。
- ・**小学部1年生には、笹竹も配付**します。安全面を考慮して、当日(7月6日)の下校時に保護者に配付いたしますので、各教室で受け取ってください。欠席した場合には、後日配付いたします(配付期限：8月31日)。



2 夏休み中の宿題について

- ・本校夏休み中の**宿題は、7月27日(土)に配布予定**です(先渡しはできません)。この日に欠席の場合は、職員室に取りに来ていただくか、郵送(シンガポール国内のみの対応)となります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・なお、**宿題の一覧表は、Google Classroomで配信**しますので、必ずご確認ください。



3 遠隔授業について(登校なし/各家庭でOnline授業)

- ・6月15日付配付の「遠隔授業の実施について(お知らせとお願い)」をご確認の上、当日(7月13日)の接続等についてご協力をよろしくお願いいたします。